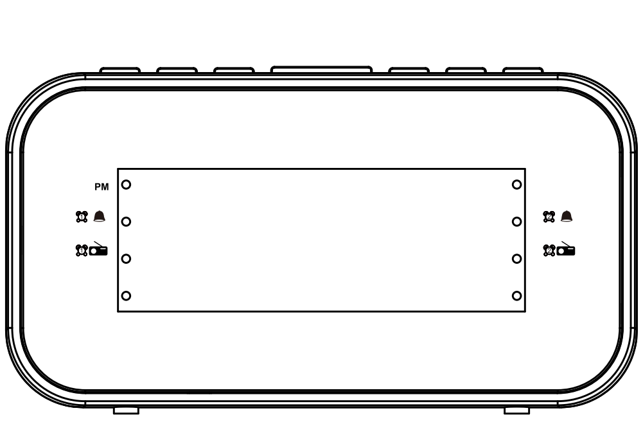
WINTECH®

取扱説明書
アラーム付 クロックラジオ
CR-X1/CR-X1WL



目次

安全上のご注意 ・・・・・・・P2－P6
電源について ・・・・・・・・・P7
各部の名称 ・・・・・・・・・P8
時間を設定するには ・・・・・P9
明るさ調整するには ・・・・・P9
ラジオを聴くには ・・・・・・P9
アラームの設定 ・・・・・・・P10
スヌーズ機能 ・・・・・・・・P10
スリープ設定 ・・・・・・・・P10
故障かな?と思ったら ・・・・P11
アフターサービスについて ・・P11
主な仕様 ・・・・・・・・・・P12
保証書

この度は当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになられた後は、いつでも見られるように大切に保管してください。尚、製品の保証書は本取扱説明書の最終項にあります。ご購入の際は、店頭にて必ずご購入店名、ご購入日の記載をうけてください。

●安全上のご注意

＊製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う原因となります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電やそのほかの事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

絵表示の例

⚠	△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合感電注意が描かれています。）
⊘	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
●	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く絵が描かれています。）

※お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

●安全上のご注意

⚠ 警　告

・内部に水や異物を入れない

禁止　注意

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。その時にはすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げ店にご相談ください。
（故障や感電の原因になります）

・異常な状態の時は使用しない

禁止　注意

煙が出たり、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用しないでください（火災や感電の危険があります）
すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
煙が出なくなるのを確認してから、お買上げ店にご相談ください。

・電源コードの取扱い

注意　危険

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱、加工などを加えないようご注意下さい。
電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意下さい。コードが傷つき火災や感電の原因になります。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをおかない。
- ・敷物の下に電源コードを隠さない。
- ・電源コードをホッチキスや釘などで固定しない。
- ・足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないで下さい。（火災や感電の危険があります）

・分解・改造はしない

分解禁止

お客様ご自身で本体を改造しないで下さい。
（火災や感電の危険があります）

・浴室やシャワー室では使用しない

禁止

浴室やシャワー室など湿度の高い場所や水はねのある場所では使用しないで下さい。
（火災や感電の危険があります）

●安全上のご注意

⚠ 警　告

・指定以外での電圧では使用しない

危険

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
（火災や感電の原因になります）

・日本国外で使用しない

禁止

この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないで下さい。
（火災の原因となります）

・落下した機器は使わない

危険

落としたり、カバーやケースが壊れた機器を使用しないでください
（火災や感電の危険があります）

・乾電池は充電しない

危険

乾電池は充電しないで下さい。
（電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となります）

・乾電池に注意

電池に注意

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲む事のないようにして下さい。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いて下さい。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師へ相談して下さい。

・雷に注意

接触禁止　感電に注意

雷が鳴り始めたら、アンテナや電源プラグに触れないで下さい。
（感電の危険があります）

●安全上のご注意

⚠ 注　意

・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

注意

感電の原因となることがあります。

・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

注意

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いて下さい。

・湿気やほこりのある場所に置かない

注意　危険

油煙や水の当たる調理台、加湿器の近くや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
（火災や感電の原因になることがあります）

・温度の高い場所には置かない

注意　危険

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え火災や感電の原因になることがあります。

・不安定な場所に置かない

注意　危険

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないで下さい。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

・大音量で長時間つづけて聞きすぎない

注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聴きましょう。

・はじめからボリュームを上げすぎない

注意

突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

●安全上のご注意

⚠ 注　意

・お手入れするときは

電源プラグを抜く

お手入れするときは安全のため必ず電源プラグを抜いて下さい。
乾電池も取り外して下さい。電源プラグをコンセントに
接続したままお手入れすると、火災の原因となることがあります。

・定期的に掃除を

定期的に掃除を

定期的に本体内部の掃除を販売店などにご相談下さい。
本体内部にほこりがたまると
火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨時期に行うとより効果的です。

・移動するときは

電源プラグを抜く

移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いて下さい。

・アンテナ注意

アンテナに注意

持ち運びする時は、アンテナをたたんでください。
伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。

・本機や梱包材などの廃棄には注意する。

本機は金属やプラスチック、梱包材の一部はプラスチック系の素材でできている為、各自治体の指示に従い、廃棄して下さい。

●電源について

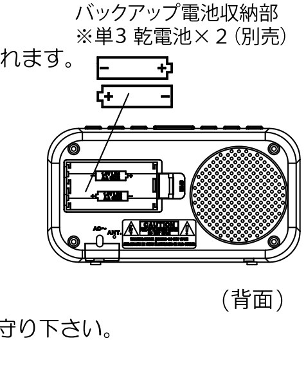
家庭用電源(AC100V)で使う場合

①電源プラグをコンセントに接続します。
＊長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

単３乾電池(２本)を使う場合－時計設定のバックアップに使用します。

①背面バッテリー収納部のフタを開けます。
②市販の単３乾電池2本（別売）を＋と－の向きを確認し、正しく入れます。
③フタを閉めます。

＊時計設定のバックアップに使用されます。
移動時や停電時に便利な機能です。
（電源プラグを抜くと電池が入っていても表示は消えます）



※乾電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などの事故防止のため、以下のことをお守り下さい。

⚠ 警告

- ・火中へ投入、加熱、分解しないでください。
- ・ショートさせないで下さい。
- ・充電しないでください。

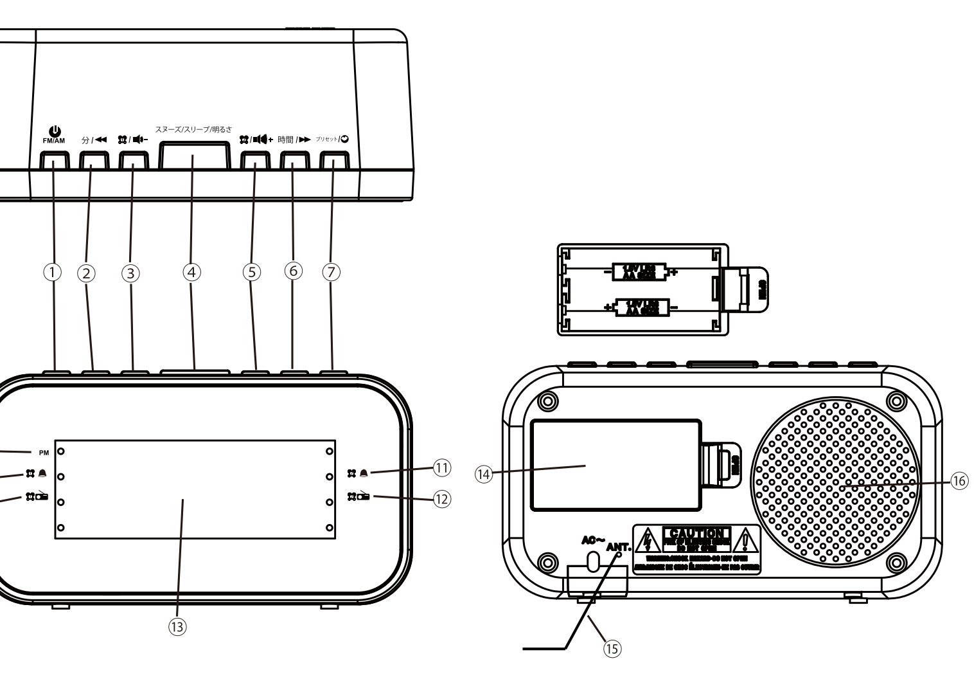
＊乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をご確認の上、ご使用下さい。

⚠ 注意

- ・+、-の向きを正しく入れてください。
- ・使い切ったときや、長期間使用しないときは取り出しておいてください。

＊万一液漏れしたら、バッテリー収納部の液をよくふき取ってください。また身体、衣服に付着した時は、水で十分洗い流してください。

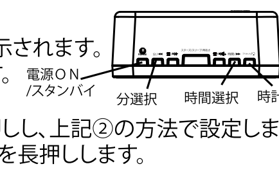
●各部の名称



①電源ON/スタンバイ
　FM/AM切替ボタン
②分選択/◀◀ 戻るボタン
③アラーム１設定ボタン
　音量－ボタン
④スヌーズ/スリープ/明るさ調整ボタン
⑤アラーム２設定ボタン
　音量＋ボタン
⑥時間選択/ ▶▶ 進むボタン
⑦時計設定/プリセットボタン
⑧ＰＭ(午後)表示
⑨アラーム１ブザー表示
⑩アラーム１ラジオ表示
⑪アラーム２ブザー表示
⑫アラーム２ラジオ表示
⑬ディスプレイ
⑭バックアップ電池収納部
⑮ＦＭピッグテイルアンテナ
⑯スピーカー

●時間を設定するには

本機は12時間表示（午前：AM/午後：PM）に対応しています。
午後はPM（午後）表示部にライトが点灯するように設定して下さい。
本機の背面にあるバッテリー収納部に電池を入れると部屋から部屋への移動など一時的にコンセントを抜いた場合も時計のバックアップができます。ただし、コンセントを抜くと電池が入っていても表示は出ません。



① 電源プラグをコンセントに差し込むと１２：００がディスプレイに点滅表示されます。
② 表示点滅中に時間選択ボタンで時間を、分選択ボタンで分を選択します。
（約５秒前後で点滅から点灯に変わり確定されます）
③ 時計設定を変更する場合は、スタンバイの状態で時計設定ボタンを長押しし、上記②の方法で設定します。
※ラジオモードからスタンバイにする場合、電源ON/スタンバイボタンを長押しします。

※時計バックアップ用の電池は別売です。（単３乾電池ｘ２本）

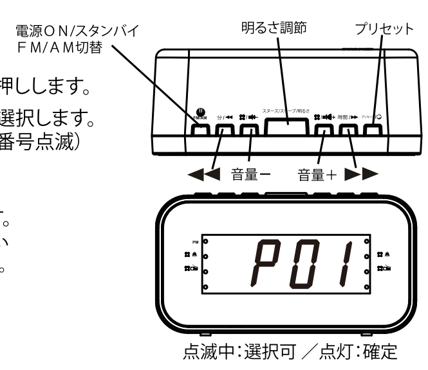
●明るさ調整するには

本機は明るさ調整ボタンを長押しすることで液晶の明るさを２段階に調整できます。
お好みの明るさに切り替えて下さい。

●ラジオを聴くには

AM放送、FM放送の受信ができます。
①電源ON/スタンバイボタンを押します。
②FM/AM切替ボタンでAMかFMを選びます。(スタンバイに戻すには電源ボタンを長押しします)
③ ◀◀ ボタン/ ▶▶ ボタン で放送局を受信します。
・電波が弱い場合や遠方のラジオ局を受信する場合は、選局ボタンを軽く押し続けて周波数を調節します。
・それ以外の場合はディスプレイの周波数が変わり始めるまで長押しします。
周波数が自動で変わり始めたら手を離します。次の受信可能な周波数まで本機が自動で検索します。
④音量 ＋－ボタンで適音に合わせます。

◆ラジオ局をプリセットするには
①お好みのラジオ局を選択し、時計設定／プリセットボタンを長押しします。
② ◀◀ ボタン/ ▶▶ ボタン を押して設定したいプリセット番号を選択します。
※ＦＭ１０局／ＡＭ１０局 (プリセット番号点滅)
③時計設定／プリセットボタンを押して確定します。
④ プリセットしたラジオ局を聴くには、ラジオモードで
時計設定／プリセットボタンを押し聴きたい番号を選択します。
※電源プラグを抜くとプリセット局はリセットされますのでご注意ください
バックアップ電池を入れるとプリセットのメモリー保持ができて便利です。



より良い受信をするために

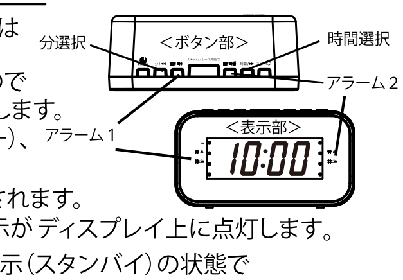
○AM放送を聴くとき
アンテナが本体内部に内蔵されておりますので、一番良く受信できる方向に本体を向けて下さい。

○FM放送を聴くとき
背面下部にあるＦＭピッグテイルアンテナを伸ばして一番良く受信できる方向に向けます。
※建物の中では、電波が弱くなり、聴こえにくい場合があります。できるだけ窓側に設置して下さい。

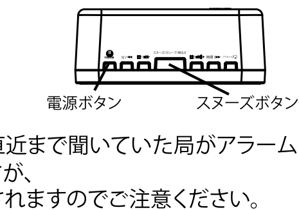
※ご注意　・ラジオの受信中、近くのテレビの音や本機の音に雑音が入る場合は、テレビから離すか、テレビの電源を切って下さい。

●アラームの設定

本機は毎日希望する時間から最大60分ラジオ・ブザーの音を流すことができます。
アラームを異なった時間で2回設定することができます。
※アラーム動作中は設定時間でＯＮになり、スヌーズ操作をしない場合６０分後にＯＦＦになります。
※アラーム設定はスタンバイ の状態で行うことができます。(ラジオモードの場合は電源ボタン長押し)



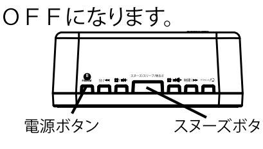
① 時計表示（スタンバイ）の状態でアラーム１またはアラーム2ボタンを押します。
設定中のアラーム表示と、時間表示が点滅するので
時間選択ボタン/分選択ボタンで時間、分を設定します。
② 設定中のアラームボタンを押し、アラーム（ブザー）、アラーム（ラジオ）を選択、または解除します
③約5秒前後で点滅から点灯に変わり設定が確定されます。
設定が完了したアラーム１またはアラーム２表示が ディスプレイ上に点灯します。
④アラーム１の設定をキャンセルするには、時計表示（スタンバイ）の状態で
アラーム１ボタンを押し、アラーム１（ブザー、ラジオ）表示を消します。
アラーム２のキャンセルも同様に操作して下さい。
⑤アラームを停止する場合は、電源ボタン、
スヌーズを使う場合はスヌーズボタンを押します。



◆ラジオをアラーム設定する場合
事前に聞きたい周波数に設定して下さい。ＡＭ／ＦＭとも直近まで聞いていた局がアラームとなります。
※アラーム設定時に、設定されている周波数が表示されますが、
途中ラジオ周波数を変更すると、変更後の周波数が優先されますのでご注意ください。
※ラジオアラームの音量は本体設定音量に連動します。
最小にしているとアラームが開始してもラジオは聞こえませんのでご注意ください。

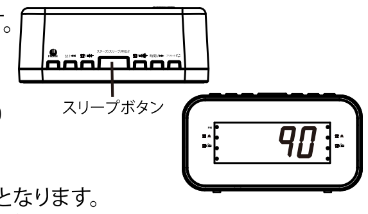
●スヌーズ機能

アラーム機能で設定した音はスヌーズボタンを押すことによって一時的に消すことができます。
アラーム１または２表示が点滅します。
アラーム機能は自動的に９分後に元に戻って繰り返し音を出します。
※スヌーズ機能を使用してもアラーム開始から６０分後にOFFになります。
（アラーム表示　点滅→点灯）
※スヌーズ機能を解除し、途中停止したい場合は
電源ボタンを押してアラームを停止して下さい。
アラーム表示が点滅から点灯に変わります。



●スリープ設定

①ラジオモードの状態で希望のラジオ周波数 を選択します。
② スリープボタンを 押します。
スリープ表示がディスプレイ上に点灯します。
③ スリープボタンを押し続けると ９０→８０→７０→６０→５０→４０→３０→２０→１０→ＯＦＦと表示が変化しますので、希望のスリープ時間を選択します。
※設定時間を経過するとラジオＯＦＦとなり、スタンバイモードとなります。
④ スリープ機能を解除するには、スリープボタンを押し続け表示をＯＦＦにします。



●故障かな？と思ったら

使用方法を間違えたりしますと次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼するまえに、下記の表を参考にしてください。
症状が下記の表に当てはまらなかったり、表内の対処方法で解決されない場合には、電源を抜いて販売店へ連絡してください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグはしっかりさしこまれていますか？	電源プラグの接続を確認してください。
音が出ない。	ボリュームが最小になっていませんか？	ボリュームを調整して下さい。
液晶画面が表示されないボタンを押しても反応しない。	静電気がおきていませんか？	一度電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて数分たったら接続し直してください。
ラジオで波のような音が入る。	周波数がずれていませんか？	周波数を正しく合わせてください。
雑音が入る。	本機の向きを調節しましたか？	本機の向きを調節して下さい
	近くにテレビや蛍光灯等の電気製品はありませんか？	本機をテレビや蛍光灯などの電気製品から離して下さい。
放送局が入りにくい。	近くに高い建物があったり密閉状態のような場所で使用してませんか？	使用場所を変えて下さい。

●アフターサービスについて

・この製品には保証書がついています。
お買い上げの販売店の所定事項をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
所定事項の記入がない場合は保証が有効となりませんのでご注意下さい。

・保証期間内に修理を依頼されるとき
この取扱説明書をよくお読みになり、異常がある場合はお買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定により、修理させていただきます。

・保証期間後に修理を依頼されるとき
お買い上げの販売店にご依頼下さい。修理により、製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。

※お客様ご自身で修理や分解・改造することは危険ですので、絶対におやめ下さい。

●主な仕様

○受信周波数	AM ５２２~１６３８ KHｚ FM ７６～１０８MHｚ
○電源	AC100V/50-60Hｚ（自動切り換え） 単3 乾電池2本（クロックバックアップ用）（別売）
○消費電力	約３．５W
○出力	約４００mW
○サイズ（本体部分）	約W１５５×D６１×H８５mm
○重量(本体部分)	約０．４Kg
○付属品	取扱説明書（保証書）

※仕様等は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承下さい。

保　証　書

本書は、下記記載の内容により、無料で修理および調整を行う事をお約束するものです。

★販売店様へ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ずご記入の上、お客様にお渡しください。

型式	＊お買い上げ日	保証期間
CR-X1 CR-X1WL	年　月　日	お買い上げ日より1年間
＊お客様　様		
＊販売店　印		

保証規定

1. 説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げ後一年間無料で修理致します。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品に本証または販売店で発行した保証書（型番、商品名の記載あるもの）を添えて、お買い上げ店にご持参ください。
3. 保証期間でも次の場合は有料修理となります。
   - イ. 誤用・乱用および取扱不注意による故障。
   - ロ. 火災・地震・水害および盗難などの災害による故障。
   - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障。
   - ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化。
   - ホ. 消耗品および付属品の交換。
   - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名など）の記入がない場合。
4. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。
5. 本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行は致しませんので大切に保管してください。

＊　この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

輸入販売元：廣華物産株式会社
〒173-0026　東京都板橋区中丸町11-2
電話：03-5966-3933
E-mail：info@kohka.biz
URL：http://www.kohka.biz

Ver.80608102